

ベネズエラ大使館からのメッセージ

議論し行動するフェミニズム活動の国際的なネットワーク構築を！

セイコウ・イシカワ（駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使）

3月8日が国際婦人デーと定められた背景には、記憶に残る2つの歴史的な出来事があります。1つは1857年に米国のロウアー・イーストサイドの被服工場で女性労働者が起こしたストライキ、もう1つは1908年に米国の大型繊維工場で4万人もの女性縫製労働者が起こしたストライキ（ニューヨークの綿織物工場で120名以上の女性労働者が命を落とした痛ましい悲劇に端を発したもの）です。

これらの出来事は、権利の平等、労働時間の短縮、児童労働の廃止を求めた女性たちの闘いの歴史的な重要性を物語っています。女性たちの闘いはその後も継続、進化し、より広範な政治参加、経済的権利へのアクセス、社会における女性の役割を認めるよう求めてきました。

女性の闘いは今も、本集会のような場で生き続けています。すべての女性、および「戦争をとめよう！貧困をなくそう！」のスローガンのもと、今年度も集会を企画した思想運動とHOWSのメンバーとに、わたしから特別な祝辞を贈りたいと思います。

ベネズエラにとって貧困の不可逆的な根絶は、持続可能な開発と社会における機会と進歩の平等を確保するための必須条件です。脆弱な状況にある人々を包含することなくして、持続可能な開発はあり得ません。平和と非暴力の文化の促進もまた、持続可能な開発のための基本条件です。

女性は今や社会の発展において重要な役割を果たし、自分たちが存在として脆弱なのではなく、社会的な脅威や自然災害に対して脆弱な状況に置かれがちなのだということを示しています。このため、ベネズエラ政府は女性の尊厳を守ることに断固として取り組み、すべての女性の権利を保護し保証するための国家機関の設立や法的枠組みの設置を実施しています。

ベネズエラでは、25年間のボリバル主義革命を通じて女性の存在が認識され、保護されてきました。そしてこの間に女性の政治参加・社会参加が実現し、人生のあらゆる段階でのサポートが提供されてきました。ニコラス・マドゥーロ大統領は以前、このように述べています。21世紀の男女同権社会主義は永遠の司令官ウゴ・チャベス氏の遺産であり、女性は社会的、政治的、民主的变化のうねりの最前線に立つべきである、と。

こうしてベネズエラの民主主義は、とりわけ女性に支えられてより良い方向に変化を遂げてきました。そして地域住民の政治参加と社会包摂を促す、新しい参加型構造を主導してきました。その例がコムーナ地域評議会やコムーナで、バリオ（訳注：主に低所得者層の居住地区）に住む多くの女性たちがここに自分自身の、また集団としてのエンパワーメントの場を見出しています。

コムーナとは、ベネズエラの公権力と法律によって認められた、地域に根差す組織形態です。現在ベネズエラには3000以上のコムーナがあります。それぞれ、コムーナ地域評議会（自ら組織化することを目的とした広域の下位区分）を含む独自の自治構造を持っています。最高審議機関は市民議会で、地域の重要事案について決定し、コミュニティを組織化する役割を有しています。コムーナでは、女性が活動人口の80%を占め、実際にコミュニティの運営プロセスを構築しています。

ベネズエラは社会構造に関わる将来のビジョンを楽観的に捉えた上で、非常に強固なモデルを構築しています。なぜなら、ベネズエラでは非通常戦争が仕掛けられているにもか

かわらず、また経済戦争や一方的強制措置（いわゆる「制裁」）の時期にあるにもかかわらず、極度の貧困は減少を続けているからです。

さらに国際社会においてもわが国の女性たちは団結し組織化しています。2024年には、メキシコシティで開催された「第1回フェミニズム・インターナショナル設立会議」に、世界30か国以上から集まった女性リーダーやフェミニズム活動家たちとともに参加しました。

その根本的な目的は、議論し行動するフェミニズム活動の国際的なネットワークを構築することです。そうして世界でさまざまな形の支配と暴力の源となっている家父長制、資本主義、新自由主義の危機に対し、文明の変革を起こすことです。生命の再生産を尊厳あるものと認めること、その結果としてより公平な社会や平等を求めて闘うこと、そして人類の生活条件と地球環境との関係を改善することです。

最後に、思想運動の皆様には、ベネズエラおよびボリバル革命に連帯し、わが国に対して違法に実施されている経済封鎖や一方的強制措置（いわゆる「制裁」）を告発してくださっていることに感謝いたします。この国際婦人デーが、世界の女性のエンパワーメント、ジェンダー平等、フェミニズムのために闘う戦士たちへの力強い連帯の表明となることを願っています。

セイコウ・イシカワ（駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使）
（見出しは編集部による）